

年間指導計画表

| | | | |
|-------|----------|----------|------------------|
| 教科・科目 | 芸術科・美術 I | 単位数 | 2 |
| | | 学科・学年・学級 | 普通科・創造表現コース 第1学年 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して創ることのよろこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。 鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。 感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術を愛好する心情を育てる。 |
| 使用教科書・副教材等 | <ul style="list-style-type: none"> 高校生の美術1(日本文教出版) 新美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など |

2 評価の観点等

| 観点 | 趣旨 | 評価方法 | 配分 |
|-------------|---|--------|-----|
| a. 関心・意欲・態度 | ・美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現しようとする。 | 授業態度など | 10% |
| b. 発想や構想の能力 | ・多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。 | 制作作品など | 30% |
| c. 創造的な技能 | ・工夫して(意図に応じて)材料、用具を活かして表現することができる。 | 制作作品など | 30% |
| d. 鑑賞の能力 | ・美術の働きや美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。 | 鑑賞態度など | 30% |

3 学習計画

| 学期 | 月 | 時数 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | |
|----|-------|----|--------|---|-------|---|---|---|
| | | | | | a | b | c | d |
| 前期 | 4 | 6 | 素材と用具 | 使用する用具、表現素材について学ぶ ・配布する用具の特性とその使用法について学ぶ ・用具と表現素材の適切な選択について学ぶ | ○ | | | |
| | 5~6 | 16 | 陶芸実習 | 陶芸の基礎的な知識・技術の定着を学ぶ ・陶芸の制作工程を学ぶ ・道具の扱い方を学ぶ ・粘土の性質について学ぶ ・紐づくりの成形について学ぶ | ○ | ○ | ○ | |
| | 6~9 | 14 | 水彩(卓上) | 水彩(卓上)の表現について学ぶ ・水彩絵の具の特性を学ぶ ・水彩によるさまざまな表現について学ぶ ・静物を観察し、立体感・質感の表現を学ぶ | ○ | | ○ | ○ |
| 後期 | 10~12 | 14 | 美術史 | 西洋の美術の流れを学ぶ ・古代からルネサンスを中心に学ぶ ・美術作品やその作者についての知識を深める | ○ | | | ○ |
| | 1~3 | 20 | 立体構成 | 立体構成の基本を学習する ・ペーパークラフトの特徴を学ぶ ・立体作品の構成について学ぶ | ○ | | ○ | ○ |